



守りたい 地域の生命！ 生活を！

おかもと陽子 通信

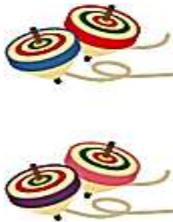
発行：岡本陽子後援会 宗像市自由ヶ丘 7-6-1 0940-25-5344

taiyoudaisukinayoko@gmail.com 皆さんのご意見をおまちしています。



議長に就任しました

令和6年10月27日宗像市議会議員選挙において20名の市議、そのうち新人議員6名が当選。市民の負託を受け、その責任を十分果たせる議会にしたいと思います。



12月議会 一般質問から



市民要望が強く、最も多かった地域公共交通の質問

改選後初めての一般質問は、質問者19名、39項目でした。鳥獣対策、ごみ収集、子育て支援、高齢者福祉、選挙投票率向上など多岐に渡りましたが、なかでも多くの議員が取り組んだ質問は、選挙中に市民要望が多かった市民の足となる公共交通の課題と、今後の方針についてでした。路線バスは利用者の減少、運転手不足で減便や廃止が発生しています。高齢者の免許返納が増える中、対策を急がなければならないというのは議員全員が感じています。質問、それに対する市の答弁についてお伝えします。

(1) 西鉄バスは本市に対して赤字路線である津屋崎～鐘崎線の全区間廃止を含むバス路線の一部廃止を申し出た。申し出に関する市の対応と今後のスケジュールは？

(答弁)①R6年10月から説明会を実施。公共交通問題はまちづくりと一体化して考えていく必要がある。様々な手法、実証実験(R7. 2月自由ヶ丘では自動運転バス実証実験を実施)ライドシェアの検討を行っていく。

②他自治体(埼玉県鴻巣市EVバス、乗り合いタクシー、福祉型オンデマンドタクシー)、の研究、本市にどう取り入れるかの検討、ラストワンマイルの交通需要調査を分析し、どう生かせるかを具体的に検討ドア to ドアの交通支援を望む声が多い。

③市民の声として、免許返納時点からバス活用を望む声が多い。早急に対応が必要だと考えている。

